

グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・1年決算型)

マンスリーレポート
データは2025年1月31日現在

労働力不足の克服という「必然のニーズ」に支えられる 骨太な成長テーマ **ロボティクス**

ロボティクスとは

AI・画像センサー・駆動技術などの要素を束ねた技術の総称です。



加速度的な成長が期待されるロボティクス

- ロボット業界は、労働力の減少や賃金の上昇を背景とした需要の拡大と、技術進化による生産効率の向上や自動化領域の拡大など供給の後押しを受け、成長産業として注目されています。

需要面 拡大するロボット需要

先進国の 少子高齢化に伴う 労働補完の必要性	新興国の 高成長を背景とした 労働効率化の必要性
<ul style="list-style-type: none"> ● 労働力の減少 ● 介護需要の増大 	<ul style="list-style-type: none"> ● 賃金上昇に伴う労働コストの増大 ● 需要拡大による生産力増強の必要性



供給面 供給を後押しする技術進化

生産効率の向上	新たな 自動化領域の拡大
<ul style="list-style-type: none"> ● 自動化におけるコストの低下等 ● 身近なものにもロボット技術を導入可能に 	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の様々な課題に対し柔軟な対応が可能に ● AI(人工知能)の活用でロボットに知能を

力強い成長が期待されるロボティクス関連企業

※上記はイメージ図です。

- ロボティクスの活用範囲は拡大し、私たちの生活に不可欠なものとなりつつあります。

ロボティクスの活用事例



FA (工場自動化)



ロボット農機



無人配送



運転の自動(自律)化

※写真・イラストはイメージです。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

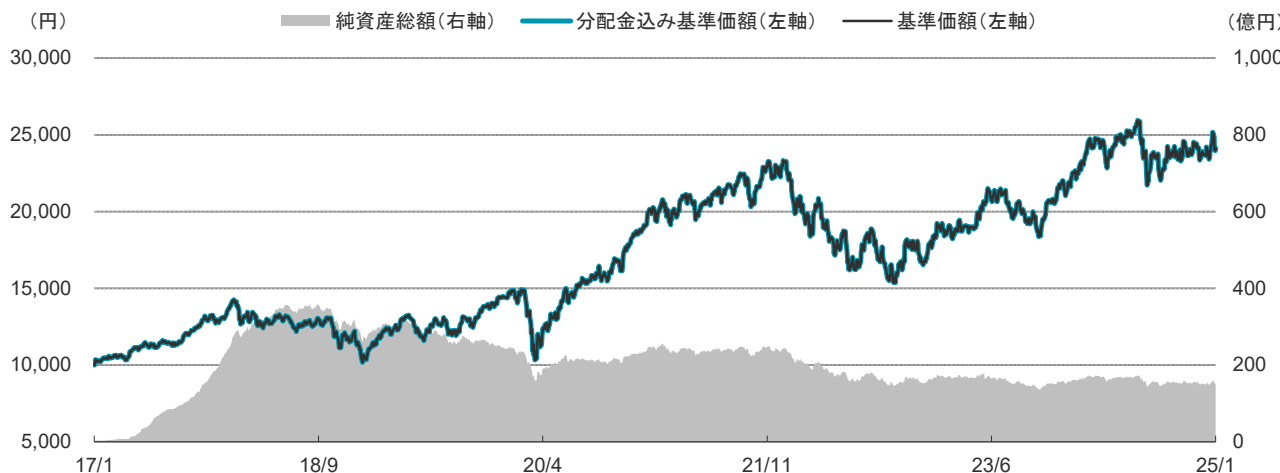
グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型)

設定日：2017年1月23日 償還日：無期限 決算日：原則、毎年7月20日
 収益分配：決算日毎 基準価額：24,132円 純資産総額：152.01億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

基準価額の推移



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

基準価額の騰落率

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
1.75%	1.34%	2.11%	6.81%	20.58%	141.32%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

基準価額騰落の要因分解

前月末基準価額	23,716円
当月お支払いした分配金	0円
株式	534円
米国	224円
日本	97円
欧州	121円
その他株式	92円
その他(為替ヘッジプレミアム/コスト等を含む)	-118円
小計	416円
当月末基準価額	24,132円

※欧州には、ユーロ圏の他、英国とスイスが含まれます。

※要因分解は、概算値であり実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

あくまで傾向を知るための参考値としてご覧ください。

分配金実績(税引前)

分配金合計	20・7・20	21・7・20	22・7・20	23・7・20	24・7・22
	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

資産構成比

株式	97.6%
うち先物	0.0%
現金その他	2.4%

※「資産構成比」は、マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、純資産総額比です。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの内容

※下記データは全てマザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものではありません。

※組入上位10銘柄の概要は、後述をご参照ください。

業種別構成比

業種別構成比	詳細(産業別構成比)
エネルギー	0.0%
素材	0.0%
資本財・サービス	31.3%
一般消費財・サービス	3.2%
生活必需品	0.0%
ヘルスケア	10.5%
金融	0.0%
情報技術	53.1%
コミュニケーション・サービス	1.9%
公益事業	0.0%
不動産	0.0%

組入上位10通貨

アメリカドル	56.9%
日本円	23.4%
ユーロ	8.9%
新台幣ドル	4.7%
スイスフラン	3.1%
スウェーデンクローナ	2.3%
ノルウェークローネ	0.6%

組入上位10カ国

アメリカ	53.7%
日本	23.4%
ドイツ	4.2%
フランス	3.6%
台湾	3.2%
スイス	3.1%
アイルランド	2.4%
スウェーデン	2.3%
オランダ	1.9%
ケイマン諸島	1.5%

規模別構成比

時価総額	比率
超大型株 (500億米ドル以上)	60.1%
大型株 (100億米ドル以上500億米ドル未満)	28.3%
中型株 (20億米ドル以上100億米ドル未満)	10.8%
小型株 (20億米ドル未満)	0.9%

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 59銘柄)

銘柄	国名	業種	比率
1 INTUITIVE SURGICAL INC / インテューイティブ・サージカル	アメリカ	ヘルスケア	4.8%
2 NVIDIA CORP / エヌビディア	アメリカ	情報技術	3.6%
3 SIEMENS AG-REG / シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	3.6%
4 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC / 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング・カンパニー	台湾	情報技術	3.2%
5 ROCKWELL AUTOMATION INC / ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	3.1%
6 ABB LTD-REG / A B B	スイス	資本財・サービス	3.1%
7 日立製作所 / -	日本	資本財・サービス	2.7%
8 キーエンス / -	日本	情報技術	2.5%
9 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC / サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	アメリカ	ヘルスケア	2.4%
10 MICROSOFT CORP / マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.4%

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

米国株式市場は、前月末と比べて上昇しました。米国の雇用統計の結果などを受けて労働市場の状況は堅調さを保っていると認識されたことや、中国において低コストAI(人工知能)モデルが開発されたことをきっかけに、AI向け半導体投資に対する期待が後退し関連銘柄が急落したことが株価の重しとなったものの、米国の製造業と非製造業のISM景況指数が市場予想を上回ったことや、エネルギーと食品を除く消費者物価指数(コアCPI)が市場予想を下回りインフレ懸念が薄れたこと、公表された米国主要企業の決算が概ね良好となったことなどを背景に、株価は上昇しました。

欧州株式市場は、前月末と比べて総じて上昇しました。ドイツのCPI速報値が市場予想を上回ったことや、米国で新政権が発足し追加関税を巡る不透明感などが株価の重しとなったものの、欧州中央銀行(ECB)が当面利下げを継続するとみられるなか、英国の小売売上高が市場予想を下回り英国の利下げ期待が高まったことや、ユーロ圏及びドイツの製造業購買担当者景気指数(PMI)速報値が市場予想を上回ったことなどが支援材料となり、株価は総じて上昇しました。

1月の国内株式市場は、東証株価指数(TOPIX)が前月末比プラス0.13%の上昇となりました。米国新政権の保護主義的な政策を巡る不透明感や日銀による利上げの継続が意識され円高/アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなる一方、国際通貨基金(IMF)が米国経済の強さを背景に2025年の世界経済成長率の見通しを引き上げたことや、AI開発に向けた巨額の投資計画が発表されたことなどが株価の支援材料となりました。

◎運用概況

1月の主要国の株式市場は、欧米は上昇したものの、日本は横ばいとなりました。AI関連銘柄でみると、中旬まではハイテク関連銘柄や電力関連銘柄が上昇をけん引していましたが、月末にかけて「DeepSeekショック」が世界に伝わり、エヌビディアをはじめとするAI関連銘柄の株価が大きく値下がりました。

当戦略では、引き続き景気のソフトランディングの実現やインフレ鎮静化をメインシナリオと考えつつも、トランプ政権が仕掛ける関税引き上げを伴う他国との交渉や、欧州主要国での政権交代の可能性などを背景とする不透明感が高まっていることを受けて、ダウンサイド・リスクの抑制にも留意しています。具体的には強固な財務体質を持つと見込まれる企業は、インフレ再燃や景気後退においても優位性が保てると考え、企業の財務体質を重視した投資判断を継続しています。なお、セ

クター別では情報技術と資本財・サービスの組入れを引き続き高水準で維持しています。

◎今後の見通し

景気重視を掲げるトランプ政権や総じて好調な企業業績などから、米国景気は当面堅調に推移するとみています。一方で、関税引き上げなど保護主義的な動きが世界に広がる可能性を注視すべきと考えます。世界的な不確実性の高まりや、米長期金利の高止まりの影響を警戒しています。

DeepSeekの登場は市場に衝撃を与えました。生成AIの開発方法やそのコストに対し様々な議論が交わされていますが、今後の変化や産業への影響に対し更なる調査分析が必要とみています。現段階で開発コストが従来の想定より抑えられるのであれば、その投資に対するリターンは上昇し、生成AIやそれに付随するサービスの開発が加速することも想定されます。生成AIとこれを活用するサービスの開発はまだ始まったばかりです。今後も投資増が見込まれるなか、中長期的な視点で生成AIは有望な技術となるとの見方を継続する他、データセンターの建設が進めば、電力設備関連など周辺産業に恩恵もたらされる可能性にも注目しています。

一層のデータ活用、サプライチェーンの見直し、賃金インフレなどは自動化・自律化の追い風となるほか、製造業を自国に呼び戻すトランプ政権の公約も自動化を後押しする材料となると期待しています。ロボティクス関連銘柄の魅力は中長期的な視点において非常に高いとの見方が強まるものと考えます。

引き続き現在のような株価変動は好機と捉え、バリュエーション重視の運用を続ける方針です。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考情報

※「組入上位10銘柄の概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※記載の見解等は、ラザード社による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

組入上位10銘柄の概要

1 INTUITIVE SURGICAL INC/インテューイティブ・サージカル

ロボット手術システムメーカーの世界最大手。主力の外科手術ロボット「da Vinci」は患者の負担が少ない低侵襲手術を実現する。各国でロボット手術の保険適用の拡大が進みつつある。

2 NVIDIA CORP/エヌビディア

米国の半導体メーカー。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を実現するGPU（グラフィックス・プロセッシング・ユニット）を開発、販売する。自動運転技術やデータセンターの高機能化の要となるAI半導体に注力。

3 SIEMENS AG-REG/シーメンス

ドイツに本拠を置くテクノロジー会社で、主に製造業、インフラ、輸送、ヘルスケアなどの分野において、リアルとデジタルを融合したソリューションを提供。新たな動きとして、モノづくりに生成AIを導入する取り組みを促進。

4 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC/台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング・カンパニー

世界最大級の半導体メーカー。世界各国で高性能コンピューター、スマートフォン、IoT、自動車、デジタル家電など幅広い製品に半導体を提供。半導体業界において初めて専門ファウンドリー（受託製造）ビジネスを確立。

5 ROCKWELL AUTOMATION INC/ロックウェル・オートメーション

FA（ファクトリーオートメーション）分野において機器だけでなくソフトウェア、システム、セキュリティ等のソリューションをトータルで提供する。幅広いエンドユーザー（最終顧客）を持ち、様々な分野でのオートメーション化の進展をカバーする。

6 ABB LTD-REG/ABB

スイスに本社を置く重電、重工業メーカー。主力事業の一つであるオートメーション事業において工業・商業分野向けに自動化関連の製品（ロボット等）やシステム、ソフトウェアサービスを提供する。

7 日立製作所

世界有数の総合電機メーカー。「デジタル」「グリーン」「イノベーション」の3つを成長の柱として、ITサービスやDXソリューション、エネルギーソリューション、鉄道システム、ロボティクスSI等、幅広く事業を展開。

8 キーエンス

FA（ファクトリーオートメーション）向けセンサーを主力とするメーカー。ロボティクス分野の多くの場面で重要な役割を果たすセンサーをコンサルティング営業で提供する。

9 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC/サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック

研究機関や医薬品メーカー向けに研究機器、試薬等を提供する世界最大の総合科学サービス企業。研究開発コストが年々上昇傾向にある中、ロボットやコンピューターを利用して研究開発の作業を効率化するLA（ラボラトリーオートメーション）に注力。

10 MICROSOFT CORP/マイクロソフト

OS「Windows」、アプリケーション「Office」やクラウドサービス「Azure」などの製品を販売する世界有数のテクノロジー企業。生産性を根本的に加速させるために生成AIを組み込んだツールやサービスの提供に注力。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考情報

ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数
(税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース)

※上記グラフの指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数(税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース)は、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はVettaFilに帰属します。

※上記グラフは、当ファンドの設定時を100として作成日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

※ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数(税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース)は、当ファンドの参考指数です。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。

- 今後の成長が期待されるロボティクス関連企業の株式を中心に投資を行なうことにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- 産業用やサービス用などのロボットを製作する企業のみならず、ロボット関連技術であるAI(人工知能)やセンサーなどの開発に携わる企業も投資対象とします。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないます。
※ 為替ヘッジによって為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、対象通貨の短期金利より円の短期金利が低い場合には、為替ヘッジコストがかかります。

2 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。

- 株式運用に強みを持つ米国の資産運用会社、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(ラザード社)が「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」の運用を行ないます。

3 年1回、決算を行ないます。

- 毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2017年1月23日設定)
決算日	毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内
※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%(税抜1.76%)

(信託報酬)

その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標準使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【為替変動リスク】

・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。

【有価証券の貸付などにおけるリスク】

・有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク(取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク)を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様にご帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

販売会社

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

※下記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券） （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第5号	○	○	
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○		
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○		
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○		○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行 （委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○		○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○		○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○		
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長（金商）第1号	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第167号	○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○		○
三菱UFJ e スマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○
株式会社三菱UFJ銀行 （委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第33号	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第38号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○		